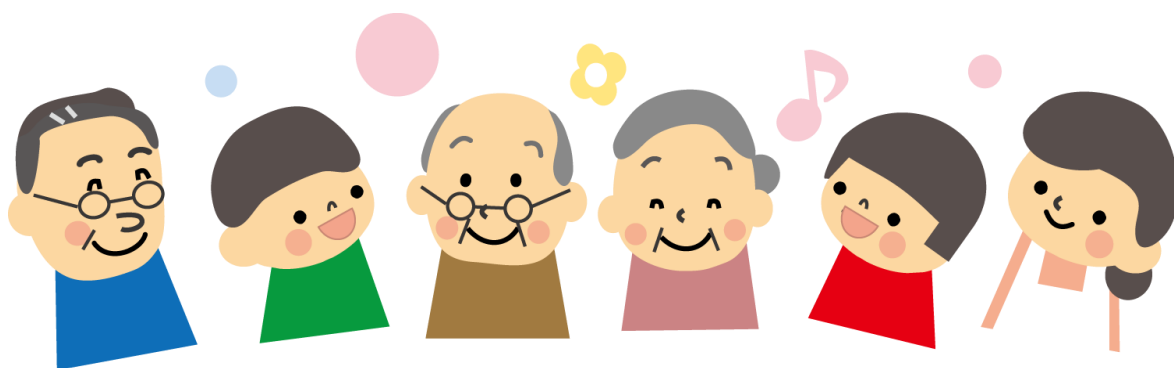


第4次柏市生涯学習推進計画 (素案)

笑顔と元気が
輪となり
広がるまち柏



令和3年4月
柏市

はじめに

「第4次柏市生涯学習推進計画」の策定にあたって

この頁には、計画策定にあたっての
思いを市長名で掲載する予定です

目次

第4次柏市生涯学習推進計画 全体構成図

第4次柏市生涯学習推進計画について

第1章 計画の策定にあたって

第1節	計画の策定にあたって	2
1	計画策定の背景	2
2	計画の位置付け	3
3	計画の期間	4
4	国・県の考え方	5

第2章 生涯学習の推進に向けて

第1節	計画の基本的な考え方	8
1	生涯学習の定義	8
2	生涯学習を取り巻く柏市の現状	9
3	第3次柏市生涯学習推進計画の総括	10
4	柏市が目指す生涯学習像	13
5	第2次柏市教育振興計画	14
第2節	基本方針について	16
1	目指す方向性	16
2	取組方針	20
3	取組方針の施策体系	22
4	計画の推進・評価体制	28

参考資料

1	関連分野の行政計画等	30
2	アンケート結果（詳細分析・抜粋）	31
3	策定までの流れ	36
4	柏市の計画策定・推進体制	37

第4次柏市生涯学習推進計画 全体構成図

第1章 計画の策定にあたって

- 第1節 計画の策定にあたって
- 第2節 生涯学習を取り巻く情勢

第2章 生涯学習の推進に向けて

- 第1節 生涯学習推進計画の基本的な考え方
 - 1 生涯学習の定義
 - 2 柏市が目指す生涯学習像

笑顔と元気が輪となり広がるまち柏
～学びを通じた地域活性化～

第2節 基本方針について

1 目指す方向性

- ・子どもたちが健やかに成長するように
- ・コミュニティの中に人と人のつながりが増えるように
- ・すべての人が学べる環境に包まれるように

2 取組方針

(1) 「はじめるきっかけ」を支援

(2) 「もっと知りたい, つながりたい」を支援

(3) 「ひろく伝えたい」を支援

情報提供による
学びの支援

第4次柏市生涯学習推進計画について

この計画の特徴

- ①この計画において市が目指す生涯学習像と基本方針を設定した。
- ②手段に着目した取組方針を設定することで、段階的な支援による施策の実効性を確保した。
- ③社会状況の変化に応じて新たな分野を盛り込む計画とした。

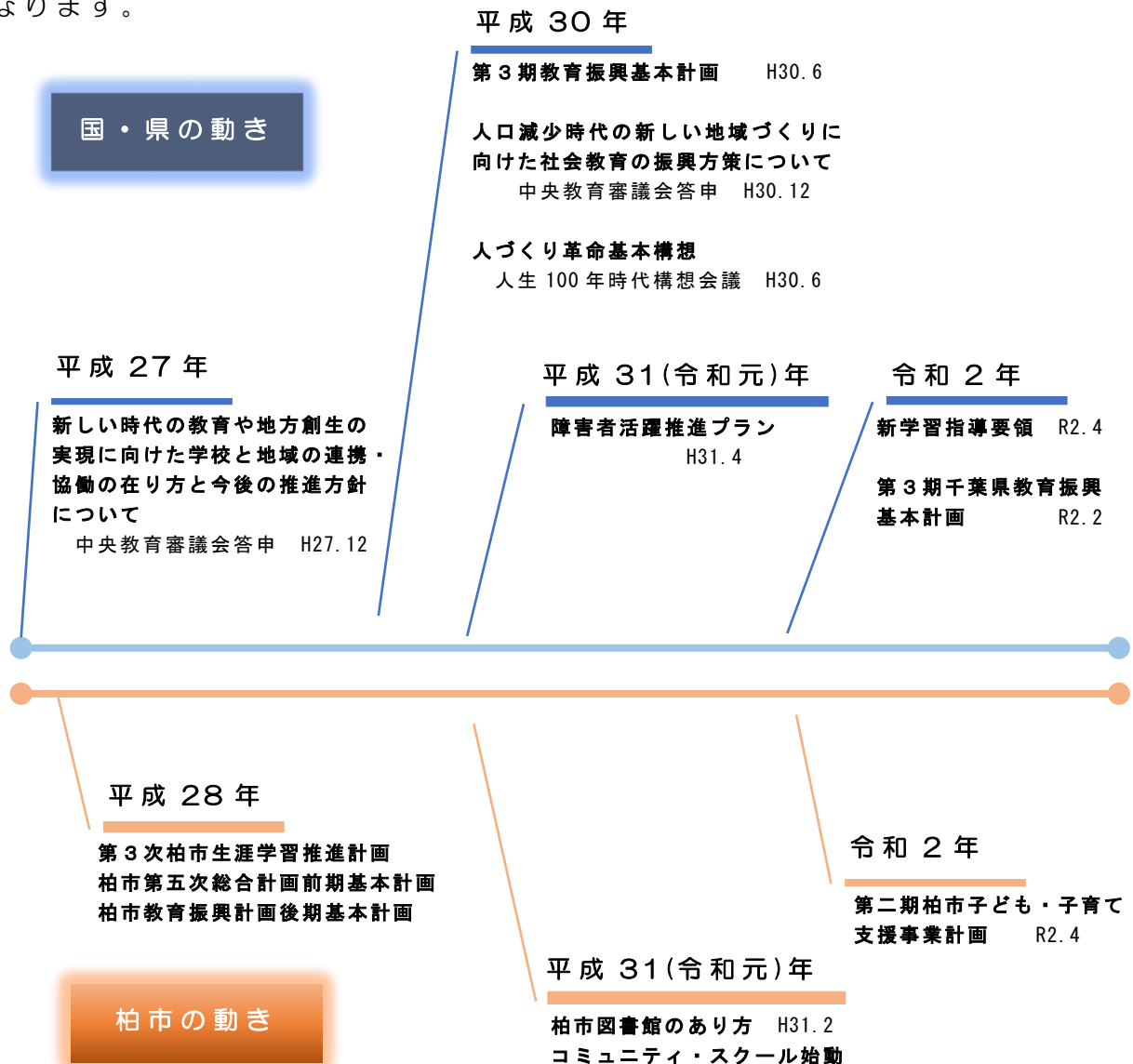
第 1 章 計画の策定にあたって

第 1 節 計画の策定にあたって

1 計画策定の背景

柏市では、第 3 次柏市生涯学習推進計画においては、目指す生涯学習像を「地域における生涯学習社会の形成」とし、市民一人ひとりが自分に適した方法で継続的な学習ができ、その成果が地域社会に還元できるまちを目指す環境づくりに向けた施策を進めてきました。

計画策定時から現在までの国・県及び柏市の動きを見てみると以下のようになります。



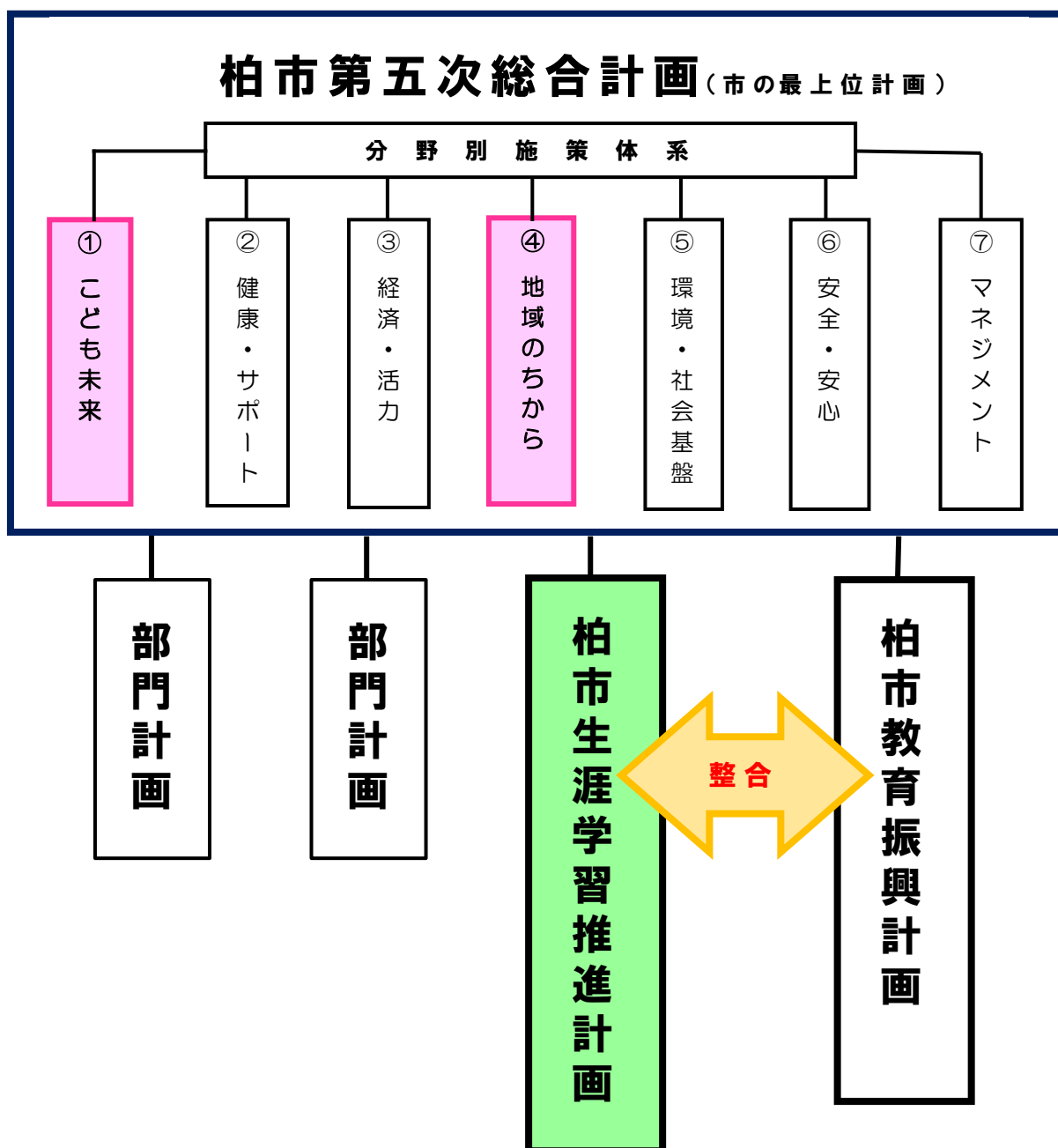
上記のような背景を踏まえて第 4 次柏市生涯学習推進計画を策定するにあたり、第 3 次柏市生涯学習推進計画の基本的な理念を踏襲しつつ、国の新たな生涯学習施策の方針及び市の関連計画の方向性を加味したものとしました。

2 計画の位置付け

本計画は、市の最上位計画である「柏市第五次総合計画」の部門計画として策定します。「柏市第五次総合計画」において、生涯学習分野の施策は、「分野1 こども未来」と「分野4 地域のちから」に位置付けられています。

また、市の教育が目指すべき方向性及び目標を明らかにした「柏市教育振興計画」と整合を図ります。

なお、文化・スポーツ分野については、該当の個別計画との協力体制により進めていきます。



3 計画の期間

本計画は、生涯学習推進に向けた中長期的な方向性を示すことから、計画期間は令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

ただし、社会情勢の変化や施策の進捗状況等を踏まえ、必要に応じて見直しを図ります。

平成／令和	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
西暦	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
柏市第五次総合計画	柏市第五次総合計画									
柏市教育振興計画	柏市教育振興計画					第2次 柏市教育振興計画				
柏市生涯学習推進計画	第3次 柏市生涯学習推進計画					第4次 柏市生涯学習推進計画				
柏市芸術文化振興計画	第四次 柏市芸術文化振興計画					第五次 柏市芸術文化振興計画				

4 国・県の考え方

国の考え方（抜粋）

◆第3期教育振興基本計画（平成30年6月15日閣議決定）

方針：生涯学び，活躍できる環境を整える

目標：・人生100年時代を見据えた生涯学習の推進

・人々の暮らしの向上と社会の持続的発展のための学びの推進

・職業に必要な知識やスキルを生涯を通じて身に付けるための社会人の学び直しの推進

・障害者の生涯学習の推進

◆障害者活躍推進プラン（平成31年4月26日文部科学省）

障害のある人の生涯にわたる多様な学びを応援する

・学びの場の充実に向けた基盤の整備

・コンファレンスの実施

・生涯学習機会の充実に向けた調査研究

◆人づくり革命 基本構想（平成30年6月13日 人生100年時代構想会議）

〈基本構想の考え方（抜粋）〉

人生100年時代には、高齢者から若者まで、全ての国民に活躍の場があり、全ての人
が元気に活躍し続けられる社会，安心して暮らすことのできる社会をつくる必要があり，
その重要な鍵を握るのが「人づくり革命」，人材への投資である。

県の考え方（抜粋）

◆次世代へ光り輝く「教育立県ちば」プラン

（令和2年2月12日・第3期千葉県教育振興基本計画）

基本理念 ちばの教育の力で「県民としての誇り」を高める！

「人間の強み」を伸ばす！

「世界とつながる人材」を育てる！

◆人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について

（平成30年12月21日 中央教育審議会答申）

〈今後の地域における社会教育の在り方〉

・地域における社会教育の意義と果たすべき役割

～「社会教育」を基盤とした，人づくり・つながりづくり・地域づくり～

・新たな社会教育の方向性 ～開かれ，つながる社会教育の実現～

◆新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について

（平成27年12月21日 中央教育審議会答申）

〈地域学校協働答申の理念（抜粋）〉

未来を創り出す子供たちの成長のために，学校のみならず，地域住民や保護者等も含め，
国民一人一人が教育の当事者となり，社会総掛かりでの教育の実現を図ること。そのこと
を通じ，新たな地域社会を創り出し，生涯学習社会の実現を果たしていくこと。

コラムには、現時点でのアイデア(仮)
を挙げています。

コラム①

新しい生活様式に合わせた
学習コンテンツの提供

YouTube 配信
かしわミュージアム など

他にVR, Zoom
取組中の写真

第 2 章 生涯学習の推進に向けて

第 1 節 計画の基本的な考え方

1 生涯学習の定義

生涯学習とは

国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に活かすことのできる社会の実現が図られなければならない。
(教育基本法第3条「生涯学習の理念」)

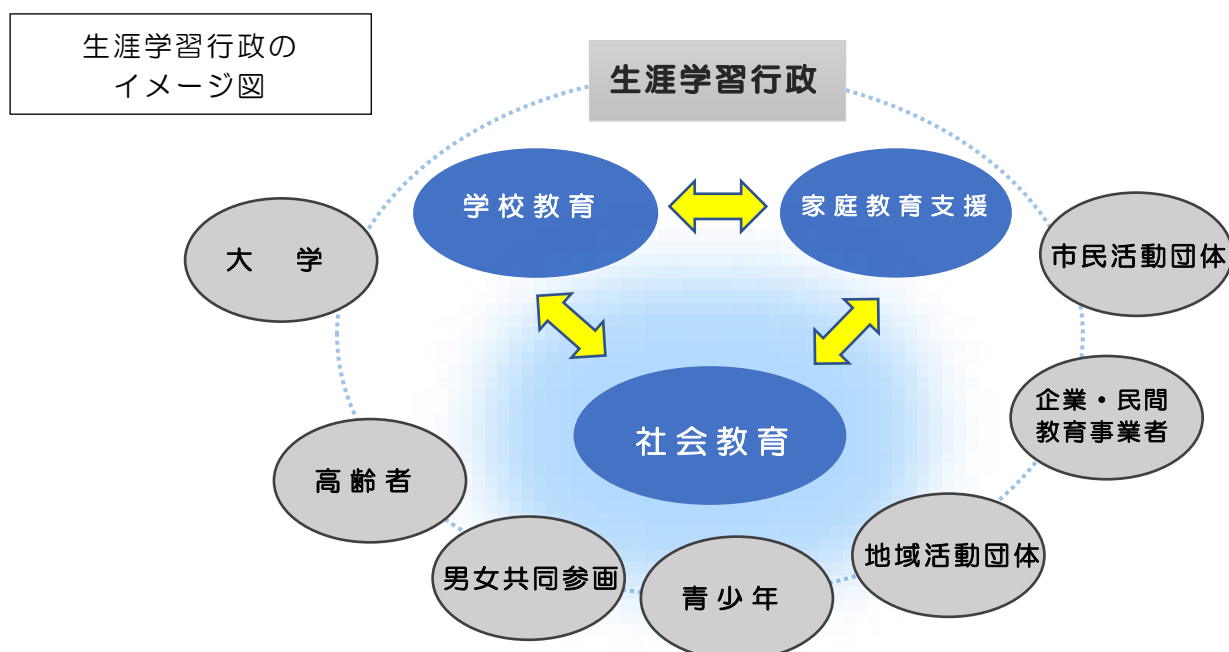
学習とは何か？

「何かを知ったり様々な活動をすることにより、その人の考え方や行動が変わること」と考えると

例えば

- ・コーヒー好きが高じて茶話会や講習会に通いつめ、遂にカフェ店長になったお兄さん
- ・子育てサークルで話しているうちに気持ちが楽になり、いつの間にか子どもとの時間を楽しんでいるお母さん
- ・地域の行事「八朔相撲」を子どもの応援で初めて知って以来、気付けば毎年参加して、今ではすっかり名物行司になったお父さん

みんな学ぶ人、生涯学習する人だと思います

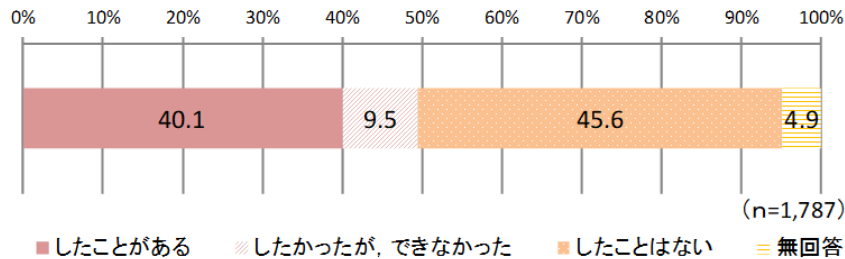


2 生涯学習を取り巻く柏市の現状

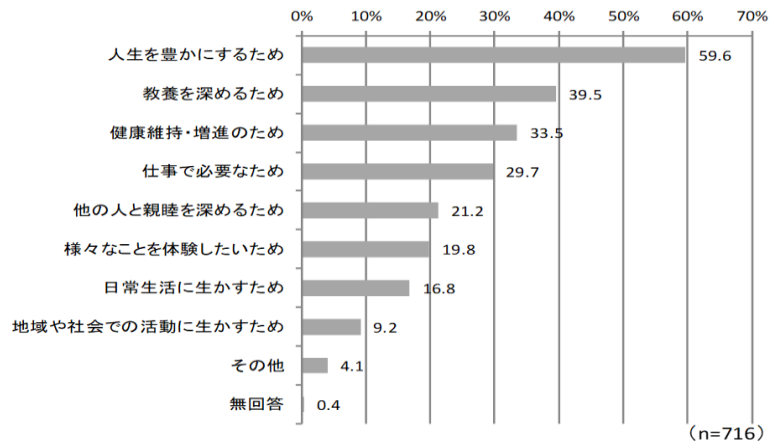
柏市民の意識（R2年 教育・生涯学習・芸術文化に関するアンケートから）

調査期間：令和元年 11 月実施 対象：柏市民 4,000 名（無作為抽出）

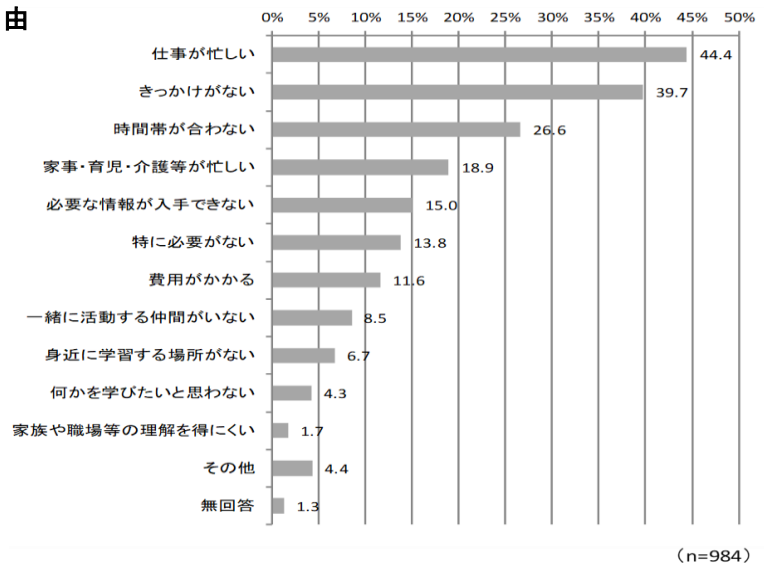
●この 1 年間に、生涯学習をしたことがあるか



●生涯学習をした理由



●生涯学習をしなかった理由



生涯学習をしている人には、人生を豊かにするためや教養を深めるために学ぶ人が多い一方、仕事が忙しいことに次いできっかけがない為に学習をしていない人が多い傾向がわかります。このことから、楽しさや生活の充実感を得られるきっかけ作りへの支援が必要と考えられます。

また、年齢別集計において、学習したかったができなかったと回答した方が 30 代と 50 代において、他の年齢より多い結果が出ました。子育て期の始まりと終わりとの関連が考えられます。現在は生涯学習をしていない人が主体的に学び始められるまちを目指すには、活動情報の提供や時間の制約があっても参加できる工夫などが必要と考えられます。

3 第3次柏市生涯学習推進計画の総括

第3次柏市生涯学習推進計画では、「地域における生涯学習社会の形成～学びあい 支えあうまち かしわ～」という生涯学習像を実現するため、「地域づくりへの参画支援」「子育て・親育ちの支援」「生涯学習情報の提供」を重点施策（3本の柱）として定め、計画を推進しました。

【重点施策（3本の柱）の施策体系図】

重点施策	方向性	主な具体的事業
1 地域づくりへの参画支援	(1) 地域のために何かをしたいと考える人材（リーダー・サポーター）の発掘、育成	地域の特性に合わせた講座を展開し、地域づくりに関する活動をはじめるといった人材の増加を目指した ・ 柏市生涯学習まちづくり出前講座 ・ ボランティア養成講座 など
	(2) 地域課題をともに解決していくための活動をする団体等への支援（立ち上げ支援・運営支援）	多種多様な地域課題の解決のために、地域と行政と共に取り組む団体の増加を目指した ・ 地域活動支援補助金 ・ 市民交流センターの運営 ・ 地域いきいきセンター など
	(3) 生涯学習実施機関のネットワーク化	団体と行政との連携を進め、交流活動の活発化を目指した ・ ネットワーク化の推進 など
2 子育て・親育ちの支援	(1) 子育ての楽しみや不安を分かち合える環境づくり	保護者同士が学びあう場をつくり、親子が出会い育ちあえる交流の場の充実を目指した ・ 地域子育て支援拠点事業 ・ みんなの子育て広場 など
	(2) 安心して子育てができる情報提供・相談体制の充実	子育て関連の情報提供と気軽な相談の場の充実によって、育児のしづらさの解消を目指した ・ 子育て支援情報提供事業 ・ 利用者支援事業 など
3 生涯学習情報の提供	(1) さまざまな生涯学習情報、ライフスタイルの変化に対応した学習機会の提供	生涯学習情報の集約に向けた取組と、誰もがいつでもどこでも自由に学べる機会の提供を目指した ・ 生涯学習情報提供システム など

重点施策の総括

本計画の策定にあたり、令和元年度に実施した所管課による各具体的事業の評価のまとめ等を踏まえて、重点施策ごとに第3次柏市生涯学習推進計画の総括を行いました。

1 地域づくりへの参画支援について

- ・ 人生100年時代においては、若者から高齢者まで全ての市民が元気で活躍し続けられるコミュニティをつくる必要がある。そのためには、学びの場である社会教育施設等を拠点に、楽しさをベースとした学びを入口とすることも想定しつつ、生きがいづくりが地域課題に関わるきっかけとなるようなイベント等を行うことが有効である。
- ・ 地域の課題が多様化かつ複雑化していることを考えると、地域課題の解決に対して積極的に取り組んでいる市民や団体、あるいはこれから地域で何かを始めようとしている市民への支援を行政機関が個々に行うのではなく、連携し合うことで地域課題解決への取り組みの好循環を作っていくことが求められている。

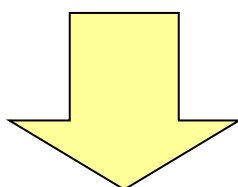
2 子育て・親育ちの支援

- ・ 地域のつながりの希薄化や核家族化が進むことで子育てについて相談できる環境が少なくなり、育児に不安を持つ親が増えている。
- ・ 今後、さらに進行していく少子高齢化社会において子育て支援を充実させていくためには、子育て世代の親への支援の充実だけでなく、子ども達を全世代で、また地域総がかりで育てる視点を持つことが求められている。そして、その環境で学び、育った子ども達が地域の未来の担い手になっていくことを目指す、学びの循環の視点が必要とされている。

3 生涯学習情報の提供

- ・ 情報は、様々な学びや活動の場に一步踏み出すきっかけとなるものであり、時間的制約の多い現役世代や生涯学習に関心が低いとされる若年層へ参加を呼び掛ける手段としても有効と考えられ、今後も情報提供に係る環境の整備に尽力していく必要がある。
- ・ インターネット環境の整備やICT機器の急速な発展により、市民が生涯学習情報を得る手段も多様化している。時代の変化に合わせた学習機会の提供は、さらに重要性を増しており、未来志向で様々な方向性を検討していくべきである。

これを受けて本計画では



次のように進めていきます

① 重点施策のうち「地域づくりへの参画支援」、「子育て・親育ちの支援」の理念を第4次柏市生涯学習推進計画に引継ぐ。基本方針「子どもたちが健やかに成長するように」、「コミュニティの中に人と人のつながりが増えるように」（後述）として位置付け、実現に向けた取組を進める。

② 重点施策の「生涯学習情報の提供」を同じく本計画の取組方針「情報提供による学びの支援」（後述）に引継ぎ、全てに関わる支援として位置付ける。

③ 3つの重点施策の総括で得られた課題を、本計画で作成する取組方針（後述）に反映させることとする。

また、施策体系には分野に関わらず生涯学習の各段階に応じて必要となる具体的事業を組み入れ、実現に向けた取組を進める。

4 柏市が目指す生涯学習像

目指す生涯学習像を次のとおりとします。

笑顔と元気が輪となり広がるまち柏

～学びを通じた地域活性化～

この生涯学習像は、柏市第五次総合計画が設定した将来都市像の実現を生涯学習の面から推進していくことを表現しています。

柏市第五次総合計画の将来都市像

未来へつづく先進住環境都市・柏
～笑顔と元気が輪となり広がる交流拠点～

柏市第五次総合計画におけるこの将来都市像は、

- ①先進的なまちをつくる
- ②持続可能なまちをつくる
- ③地域課題を克服した暮らしやすいまちをつくる

という視点から設定されています。

少子高齢化や人口減少、地域を支える力の低下といった課題を克服するためには、地域力を高め、これを全市的に波及させていく必要があります。この点を「笑顔と元気が輪となり広がる」と表現していますが、この視点は、生涯学習の推進においても共通する考え方です。

学びへの参加をきっかけに、人々の笑顔と元気が輪となり柏のまち全体に広がり、人とつながり地域とつながることで地域課題の解決に結び付くことを目指し、この生涯学習像を設定します。

5 第2次柏市教育振興計画

第2次柏市教育振興計画は主に学校教育分野に力点を置いた計画であり、本計画とは密接に関係しながらも役割を分担する関係にあります。

しかし、国の第3期教育振興基本計画が両者を一体的に位置付けていることから、また、地域学校協働活動の推進や人生100年時代において生涯学び続ける力を育成するという意味においても、新たな課題に対応するためには学校教育との連携は不可欠です。

そこで、本計画においては策定段階から第2次柏市教育振興計画との整合を図り、互いの基本理念及び施策体系を取り込むこととしました。

基本構想（平成24～32年）

基本理念

自他を尊び 支え合い、学び合い、高め合う 教育

◇ 自分自身を大切にすることで始めて他者を尊重することができ、その尊重する思いから支え合う関係がつけられます。そして、支え合う関係の中から学び合いが生まれ、お互いに高め合えるような教育が必要であることから、基本理念を「自他を尊び 支え合い、学び合い、高め合う 教育」としました。

柏市の教育が目指す姿

【目指す子どもの姿】

- かけがえのない自分という存在を大切に
心身ともに健康な子ども
- 他者を尊重し、思いやり、
社会の一員として協力し合える子ども
- 課題を乗り越えようとする心を持ち、
生涯にわたり学び続ける基礎を身に付けた子ども

【目指す学校・教職員の姿】

- 子どもたちが学び合う場として、教育活動を
継続的に実践し、家庭や地域から信頼され、
支えられる学校
- 教育者としての愛情と使命感を持ち、
相互に力量を高め合い、連携協力して課題を
解決する教職員

【期待される家庭・地域の姿】

- すべての教育の出発点として、愛情と自信
を持ち、自立に向けた子どもの心身の発達
を支える家庭
- 学校や家庭との協力のもと、積極的に教育
に関わり、子どもたちの健全な成長を支える
地域

◆ 柏の子どもたちが充実した人生を送るためには、その基盤となる知識や能力、社会性などが必要です。
⇒ 「目指す子どもの姿」

◆ 「目指す子どもの姿」の実現に向け、学校及び教職員が果たす役割は非常に大きいものです。同時に、子どもたちは、家庭や地域で様々な経験を重ねて成長します。近年では家庭教育の重要性も強く指摘されています。また、学校の教育活動は、家庭や地域との緊密な連携及び協力が必要です。
⇒ 「目指す学校・教職員の姿」「期待される家庭・地域の姿」

この頁には、次期教育振興計画の
理念と体系図を掲載する予定です

施策体系

施策展開の方向 1 生涯にわたり学び続ける基礎を培う

子どもたちが生涯にわたり学び続ける基礎を身に付けられるよう、指導内容・方法の充実に向けた取組を推進します。

基本施策 1-1 これからの時代に必要な力を育み、わかる喜びにつなげる授業の推進

- 子どもたちが、日々の学習活動の中で「わかった」「できた」ときの喜びや「学ぶことの楽しさ」を実感し、「もっと学びたい」という意欲につながるような授業づくりを推進します。
- 自ら課題を発見し解決する力、他者と協働するためのコミュニケーション能力、物事を多様な観点から論理的に考察する力などの育成を重視した授業づくりを推進します。

取組の方向 1-1-1 学びづくりボランティアプロジェクトの推進

- ・ 学びづくりボランティアプロジェクトの実施
- ・ 各支援者の効果的活用方法等の指導・助言

取組の方向 1-1-2 学びを支援する人的配置の充実

- ・ ボランティア教員の配置
- ・ 学校図書館指導員の配置
- ・ 進路教育支援員の配置
- ・ 教育専門アドバイザーの配置
- ・ 教育支援員の通学学校への配置

取組の方向 1-1-3 体験的な学習の推進

- ・ 体験学習に適した施設、講座、イベント、講師等の学校への紹介
- ・ 客観作・作品展、発表会の開催
- ・ 体験学習事例集の作成、共有
- ・ 社会科副読本の作成・配布
- ・ 芸術鑑賞事業（中学校音楽鑑賞教室）の実施
- ・ 「かしわ塾」の実施

取組の方向 1-1-4 学校図書館を活用した調べ学習の推進

- ・ 学校図書館指導員の配置
- ・ 学校図書館コーディネーター、学校図書館アドバイザーの配置
- ・ 学校図書館運営マニュアルの改訂
- ・ 公立図書館の活用

取組の方向 1-1-5 授業での ICT の利活用の推進

- ・ ICT 教育支援アドバイザーによる授業支援
- ・ 柏市情報リテラシー育成カリキュラムの実施
- ・ ICT 機器の整備
- ・ デジタル教材、実践事例集の整備、充実
- ・ ICT 活用に関する教職員研修の充実

取組の方向 1-1-6 大学・民間教育機関等との連携の推進

- ・ 大学・教育関連企業等との共同研究

取組の方向 1-1-7 英語教育の推進

- ・ 外国語指導助手（ALT）の配置

基本施策 1-2 発達や学びの連続性を踏まえた教育の推進

幼稚園・保育園（認定こども園を含みます。以下同じ。）、小学校、中学校の各段階の円滑な接続を図るため、子どもの発達や学びの連続性を踏まえた一貫性のある教育活動を推進します。併せて、生徒一人一人の個性と能力を引き出すための市立高校における教育を推進します。

取組の方向 1-2-1 幼児教育研究の推進

- ・ 幼稚園、保育園との共同研究

取組の方向 1-2-2 幼保小連携の推進

- ・ 各地区連絡会への指導主事の巡回
- ・ ナスガードカリキュラム研修会の実施

取組の方向 1-2-3 小中連携の推進

- ・ 中学校区ごとの「はなさぽ会」に基づく小中連携教育の推進
- ・ 小中連携教育リーフレットの発行

取組の方向 1-2-4 市立高校教育の推進

- ・ 部活動の充実
- ・ 国際交流活動の充実
- ・ 学力向上に関する取組

コラムには、現時点でのアイデア(仮)を挙げています。

コラム②

花野井小 はなさぽ会 (学校支援ボランティア) 写真等

- ・ ステップアップ学習部 (放課後子ども教室)
- ・ 学力向上支援
- ・ 読み聞かせサポーター一部
- ・ 安全サポーター一部
- ・ 花壇・清掃サポーター一部

第2節 基本方針について

1 目指す方向性

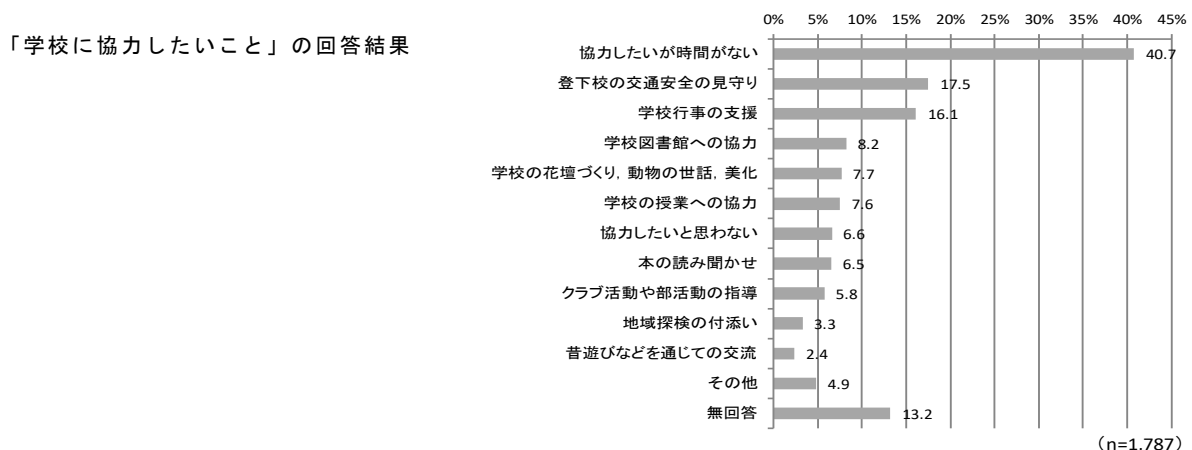
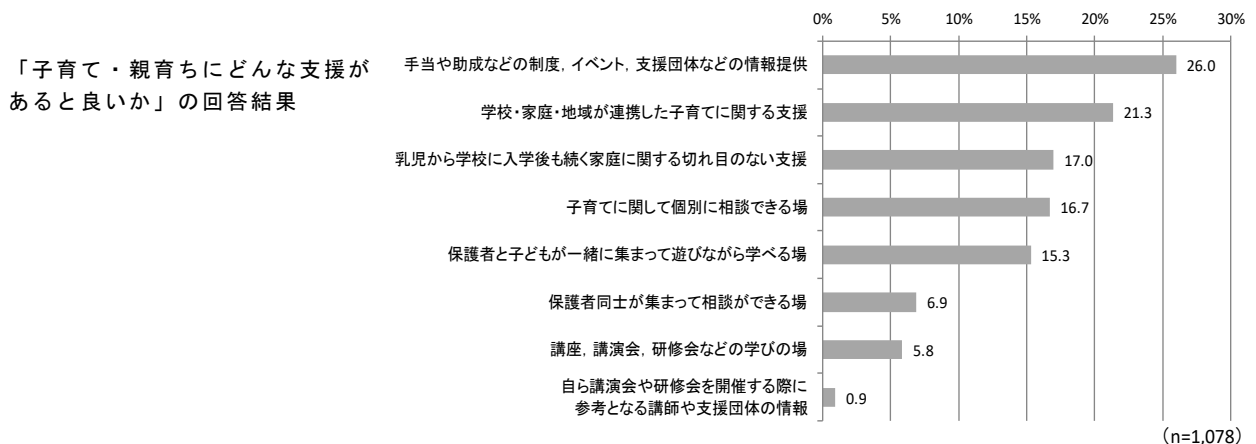
次の3つの実現に向けて取り組みます。

《1》子どもたちが健やかに成長するように

家庭や学校、地域は、各々、子ども達の成長に重要な役割を果たすものですが、ライフスタイルの多様化や核家族化に加え、柏市では転入者の増加などにより、子どもの育ちと地域の関係が薄れ、「地域の子ども達を地域で育てていく」という意識や、そのような場が無くなりつつあるのではないのでしょうか。

そこで、柏市では、保護者・親子が集まり、共に支え合う仲間を作ったり、学び合ったりできる機会の提供や、相談体制の充実等の取組により、子ども同士が育ち合い、親自身も成長し、不安や悩みを解消できる環境づくりを進めます。

今後、少子高齢化が進行する社会においては、子ども達を全世代で、また、地域総がかりで育む視点を持つことが求められています。そして、その環境で育った子ども達が未来の地域の担い手となり、自己の志の実現を図れる社会にしていくことを目指します。



《2》コミュニティの中に人と人のつながりが増えるように

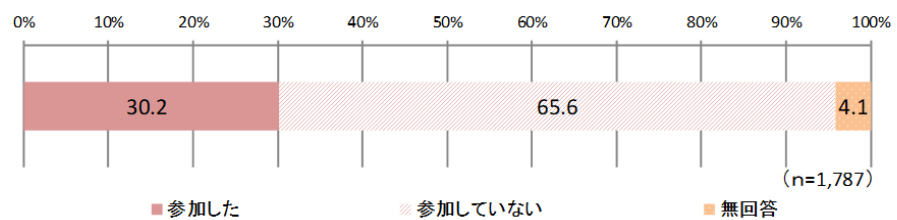
現在、地域全体の力（地域力）が低下していると言われていています。超高齢社会を迎えた今、地域の担い手の不足は喫緊の課題です。

そこで、地域の担い手となり得る人材や、地域のために何かをしたいと思っているけれどもまだ動き始めていない人、きっかけがあれば地域貢献してもいいと思っている人と、地域をつなぐことに取り組みます。

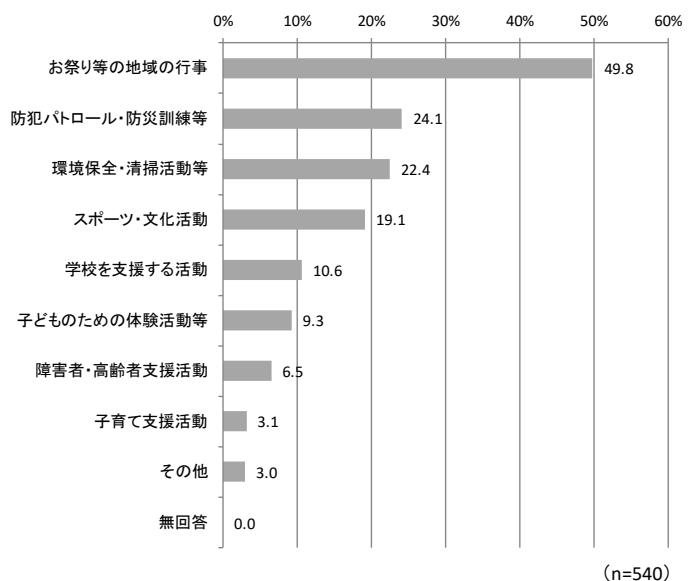
従来、地域の活動を多く担ってきた中高年世代の枠を超え、若い世代も含めた人材の発掘・育成へと広げていくことを目指します。そのために、楽しさをベースとした学びを入口とすることも想定しつつ、これをきっかけに市民の活動を活発化させ、市民が主体的に地域の課題を解決していく持続可能な地域づくりをすすめます。

また、地域の人と人とのつながりは支え合いと見守りによるセーフティネットとなり、子どもや高齢者を含めた一人一人が自分らしく活動できるまちづくりにつながっていくと期待されます。

「この1年間に地域の活動に参加したか」の回答結果



「地域や社会でどのような活動に参加したいか」の回答結果



《3》すべての人が学べる環境に包まれるように

学ぶ人一人一人が求める情報を得られる状態を目指し、障害の有無，言語や時間・経済的制約等に関わらず，市民一人一人がいつでも，どこでも，だれでも学ぶことができる環境作りを様々な形で支援します。

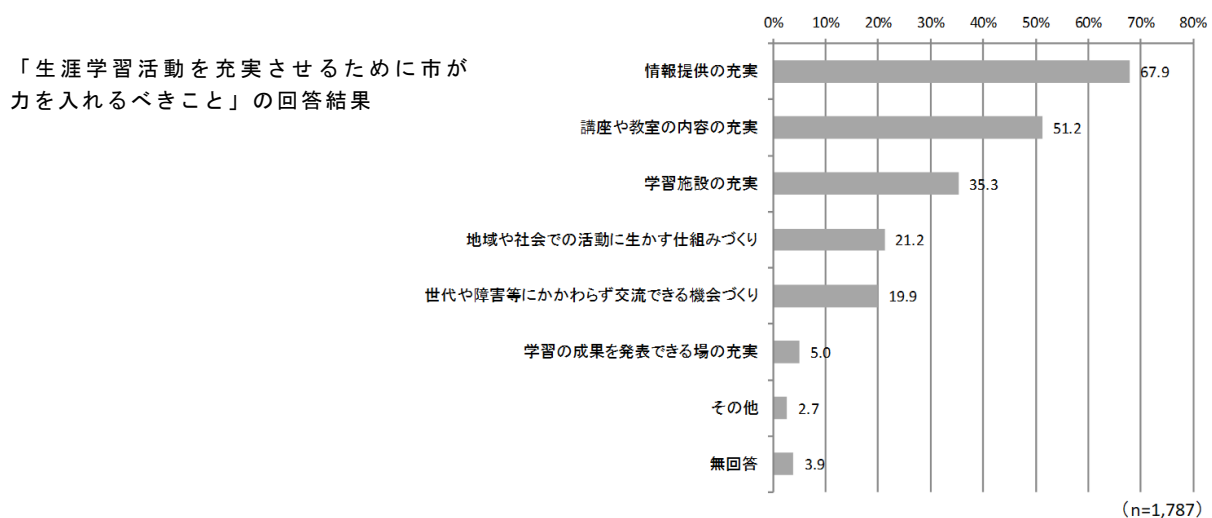
また，学んだ成果を地域で生かせる活動につなげる取組により，生きがい・やりがいを感じられ，自分自身が地域の一員であり主役であることの喜びや充実感の中で生活できることを目指します。

一方，地縁をきっかけにした人のつながりを支援することと同様に，目的や課題意識を共有する人同士のつながりによる市民グループやボランティア組織などの育成も欠かせないものと考えます。

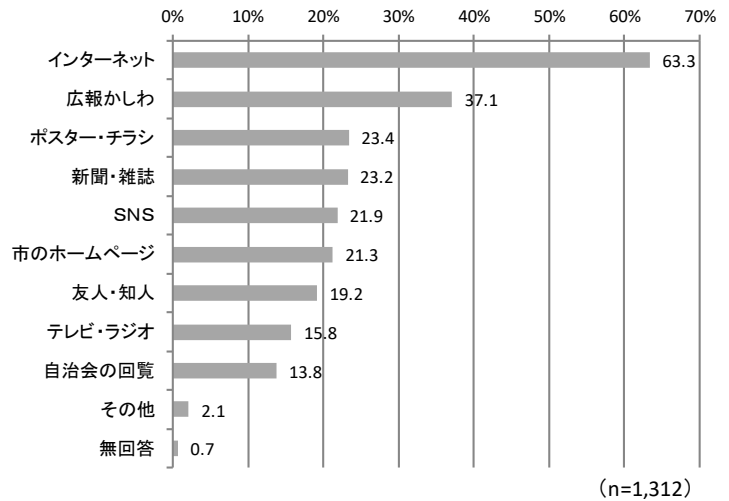
これらの活動を促し育成していくために，市民団体や個人への支援を行政機関が個別に行うのではなく，これらの連携に取り組みます。ネットワーク型行政を実質化していくことにより，一人一人の学びと生活の充実が地域貢献につながっていく好循環を作り出すことを目指します。

生涯学習推進計画を通して推進していくべき行政機関の連携

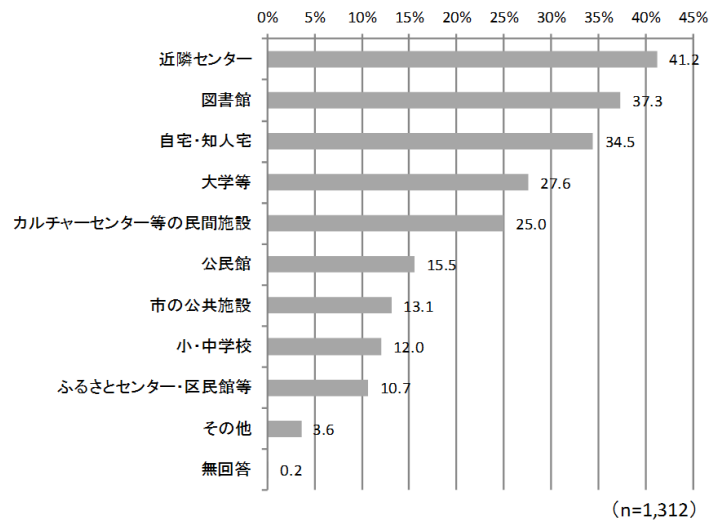
- 地域学校協働活動の推進
次世代育成やまちの持続力を育むための学校教育と社会教育の連携
- 教育福祉会館の活用
市民参加型の自立的運営のための教育と福祉の連携
- 近隣センター・公民館・図書館事業のネットワーク化
地域の拠点を活用し，身近な場所で学べる環境を整える
- 生涯学習情報の一元化と相談窓口のネットワーク化
個別の情報につなぐためのプラットフォームの強化



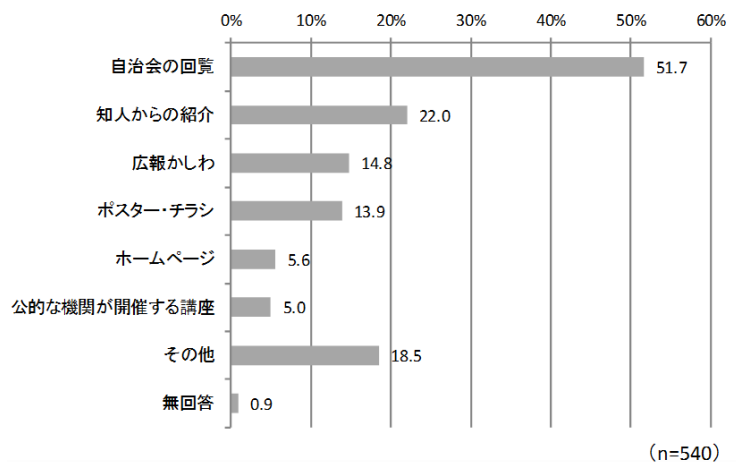
「学習する際にどのような方法で情報を収集しようと思うか」の回答結果



「学習する際にどのような場所や施設を利用したいと思うか」の回答結果



「この1年間に、地域の活動に参加したきっかけは何か」の回答結果



2 取組方針

目指す方向性を実現するための段階的支援

①「はじめるきっかけ」を支援

前計画の総括及び市民アンケートの結果から、楽しさをベースにした学びなどのきっかけづくりをすることで、あらゆる世代の社会参加を促し主体的に活動できるよう工夫します。また、学びのユニバーサルデザインを意識した取組により共生社会実現への具体的な一歩を踏み出します。

- ◆あらゆる世代が参加できる様々な学びの提供
- ◆障害の有無、言語や時間・経済的制約に関わらず、共に学ぶ環境の充実

②「もっと知りたい、つながりたい」を支援

楽しい！面白い！という気持ちから、もっと深く知りたい！へ。独学による自己の充足はもちろん、仲間と共に学ぶことで人とのつながりが生まれます。

地域コミュニティは一人一人の生活の集まりです。学びによるつながりは、地域交流や連帯感を深め、コミュニティの活性化につながると期待されます。

- ◆より深い学びへの発展
- ◆団体同士・学ぶ人同士の交流
- ◆大学や民間事業者との連携

③「ひろく伝えたい」を支援

学びから広がる交流の輪は、更なる学びや地域活動のきっかけとなり、学びの循環が生まれます。

自らが講師となって学んだ成果を伝えることは地域の活性化につながるだけでなく、地域に対する愛着を育み、自らが地域の一員であり主役であることの喜びや充実感を生みます。同時に、人から受け取った楽しさや優しさを更に別の人におくる、学びあい・支えあいの循環にもつながっていくことが期待されます。

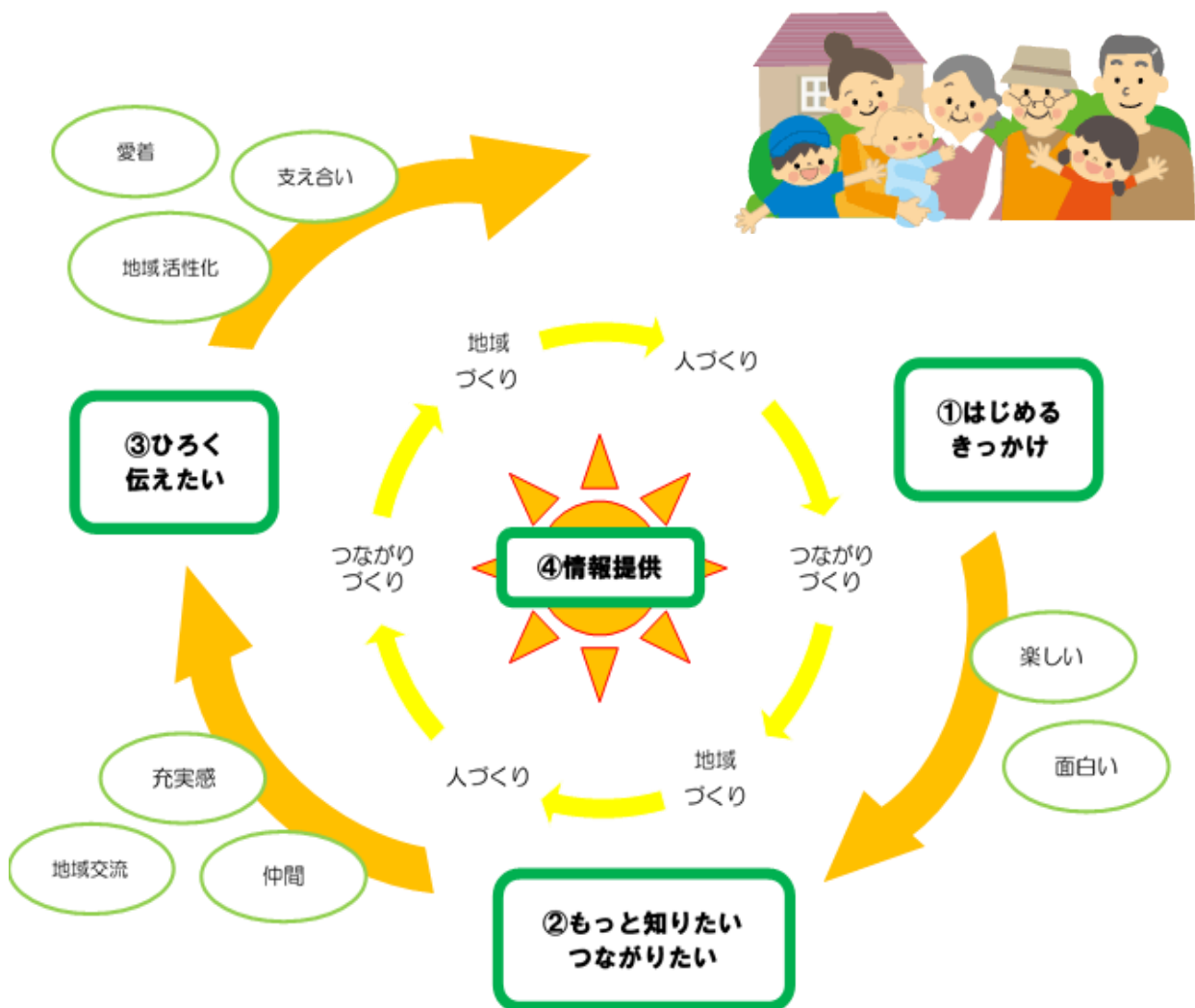
- ◆人材の育成
- ◆コミュニティの育成
- ◆行政機関の連携

④情報提供による学びの支援

学ぶ人が必要な情報を必要な時に収集できることは、全ての段階に共通して求められる支援です。的確かつ効果的な情報提供ができるよう、一元的な生涯学習情報の提供に取り組みます。

目指す方向性を実現するための段階的支援のイメージ

一人一人の学びと生活の充実が地域の力につながっている好循環



人づくり：自主的・自発的な学びによる知的欲求の充足，自己実現・成長。

つながりづくり：住民の相互学習を通じ，つながり意識や住民同士の絆の強化。

地域づくり：地域に対する愛着や帰属意識，地域の将来像を考え取り組む意欲の喚起。住民の主体的参画による地域課題解決。

3 取組方針の施策体系

ステップ	① 「はじめるきっかけ」を支援	
実現へのアプローチ	A あらゆる世代が参加できる様々な学びの提供	B 障害の有無，言語や時間・経済的制約に関わらず，共に学ぶ環境の充実
A	あらゆる世代が参加できる様々な学びの提供	
具体的事業	生涯学習まちづくり出前講座（生涯学習課） 障害理解推進事業（障害福祉課） 障がい者スポーツ推進連絡会事業（スポーツ課・障害福祉課） 夏ボラのススメ，ボランティア養成講座，地域いきいきセンター（社会福祉協議会） 青少年教育事業，家庭教育事業（中央公民館） 学校支援ボランティア（学校教育課） 読み聞かせボランティア養成，交流型講演会（図書館）	
B	障害の有無，言語や時間・経済的制約に関わらず，共に学ぶ環境の充実	
具体的事業	障害理解推進事業（障害福祉課） 障がい者スポーツ推進連絡会事業（スポーツ課・障害福祉課） 夏ボラのススメ（社会福祉協議会） 図書郵送貸出（図書館）	
検討中の具体的事業	読書バリアフリー法関係事業（図書館）	

主な事業

具体的事業	事業概要	年次計画
学校支援ボランティア（学校教育課）	小中学校において，地域ボランティアが参画する様々な支援活動	令和3年度～5年度 活動を組織的なものに発展させ，学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子供を育てる体制を整え，順次地域学校協働活動につなげていく 令和6年度～7年度 引き続き地域学校協働活動につなげていく
障害理解推進事業（障害福祉課）	障害の有無にとらわれず誰でも参加できる場を提供し，障害理解を育む活動に取り組む。	令和3年度～7年度 スポーツや音楽を通じたイベントや気軽に参加できるイベントを実施。障害に触れたことの無い方も関わりやすい企画を毎年実施。
夏ボラのススメ（社会福祉協議会）	小～高校生向けボランティア活動情報誌。時間のある夏休みに特化したボランティア体験	令和3年度～7年度 毎年度発行を継続，周知を図る。

ステップ	② 「もっと知りたい、つながりたい」を支援
------	-----------------------

実現へのアプローチ	C 団体同士・学ぶ人同士の交流	D 大学や民間事業者との連携	E より深い学びへの発展
-----------	-----------------	----------------	--------------

C	団体同士・学ぶ人同士の交流
具体的事業	<p>みんなの子育て広場、青少年育成関係事業（生涯学習課）</p> <p>KIKAI(カシワワカモノプロジェクト)（協働推進課）</p> <p>市民交流センターの運営（協働推進課）</p> <p>こずっち会議（地域支援課）</p> <p>当事者による自主サークル活動（障害福祉課）</p> <p>地域アーカイブ事業、分館活用事業、交流型講演会（図書館）</p> <p>地域子育て支援拠点事業（子育て支援課）</p> <p>地域学校協働活動（学校教育課）</p> <p>高齢者教育事業（中央公民館）</p> <p>ママパパサロン（地域保健課）</p> <p>地域いきいきセンター（社会福祉協議会）</p>
D	大学や民間事業者との連携
具体的事業	<p>放課後子ども教室（生涯学習課）</p> <p>青少年教育事業（中央公民館）</p> <p>地域学校協働活動（学校教育課）</p>
E	より深い学びへの発展
具体的事業	<p>放課後子ども教室、生涯学習まちづくり出前講座（生涯学習課）</p> <p>市民活動講座（協働推進課）</p> <p>当事者による自主サークル活動（障害福祉課）</p> <p>分館活用事業（図書館）</p> <p>地域学校協働活動（学校教育課）</p> <p>高齢者教育事業（中央公民館）</p> <p>幼児健診（地域保健課）</p>

主な事業

具体的事業	事業概要	年次計画
地域子育て支援拠点事業（子育て支援課）	地域ぐるみの子育て支援。育児講座や子育て等に関する相談、子育て親子の交流及び子育てに関連情報提供の場	<p>令和3年度～5年度</p> <p>アンケート調査等により利用者のニーズを把握し、単独型の拡充等に向けた取組を行う。</p> <p>令和6年度～7年度</p> <p>既存施設の質の維持・向上を図るとともに、利用者数の推移等を精査し、施設の在り方を検討する。</p>
ママパパサロン（地域保健課）	産前産後サポート事業(デイサービス型) 妊娠期に必要な知識や健康づくりの啓発及び地域での子育ての仲間づくりを行う。	<p>令和3年度～5年度</p> <p>柏市母子保健計画中間評価を踏まえ、事業を推進していく。</p> <p>令和6年度～7年度</p> <p>令和5年度までの実績を踏まえ、子育て支援機関等と連携し、事業を推進していく。</p>

<p>放課後子ども教室 (生涯学習課)</p>	<p>地域ボランティア等の参画による小学校の余裕教室を活用した放課後の学習支援等を行う他、夏休み中は学校や企業等との連携による体験講座を実施</p>	<p>令和3年度～5年度 地域や学校と連携し、子ども達の知的好奇心を引き出すプログラムの工夫を行うとともに、放課後の子どもの居場所を拡充したモデルを実施 令和6年度～7年度 放課後に子ども達が安全に過ごすことができる活動拠点を増やし、地域全体で子どもを守り育てる環境を形成</p>
<p>地域学校協働活動 (学校教育課)</p>	<p>幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動</p>	<p>令和3年度～5年度 地域と学校をつなげる推進員となり得る人材の発掘、研修を行うとともに、地域学校協働本部の設置を進める。 令和6年度～7年度 引き続き、人材の発掘、研修を行うとともに、すべてのコミュニティ・スクール単位で地域学校協働本部の設置を目指す。</p>
<p>市民活動講座 (協働推進課)</p>	<p>外部講師による市民活動のためのスキルアップ講座</p>	<p>令和3年度～7年度 設立間もない市民活動団体やこれから活動を始めたい市民を対象とした初歩的な講座、すでに活動している市民活動団体を対象としたスキルアップ講座を定期的実施 各年度全5回開催予定</p>
<p>分館活用事業 (図書館)</p>	<p>図書館分館を地域の情報拠点・交流の場として活用する。</p>	<p>令和3年度～5年度 分館単位での地域の特性や情報についての調査及び資料等の収集と活用検討を、地域の方とともに(2～3分館) 令和6年度～7年度 調査、検討を踏まえた地域情報の発信及び地域のつながりを育む事業の実施</p>
<p>地域アーカイブ事業 (図書館)</p>	<p>柏市を創ってきた近現代の活動を記録した地域資料や、市内でのみ流通する発行物など、いま収集しなければ失われてしまう資料等を収集し、整理・保存・活用していく。</p>	<p>令和3年度～5年度 収集する資料の検討及び収集方法、保存方法、活用方法の検討 令和6年度～7年度 調査、検討を踏まえた事業の実施</p>

ステップ	③ 「ひろく伝えたい」を支援
------	----------------

実現へのアプローチ	F 人材の育成	G コミュニティの育成	H 行政機関の連携
-----------	---------	-------------	-----------

F	人材の育成
具体的事業	<p>地域学校協働活動推進員の養成（学校教育課） 放課後子ども教室（生涯学習課） 聞こえない・聞こえにくい方の手話講習会，点字・手話奉仕員養成講座，手話通訳者・要約筆記者養成講座（障害福祉課） 成人教育事業，地域づくり事業（中央公民館） 市民公益活動情報サイト「かしわん，ぼっ？」（協働推進課） 夏ボラのススメ，ボランティア養成講座（社会福祉協議会）</p>
G	コミュニティの育成
具体的事業	<p>地域活動支援補助金（地域支援課） 放課後子ども教室（生涯学習課） 障害福祉関係団体活動補助金（障害福祉課） 成人教育事業，地域づくり事業（中央公民館） 交流型講演会（図書館） 地域いきいきセンター，地区担当職員による地域支援（社会福祉協議会）</p>
H	行政機関の連携
具体的事業	生涯学習実施機関のネットワーク化の推進（生涯学習課）

主な事業

具体的事業	事業概要	年次計画
地域学校協働活動推進員の養成（学校教育課）	小中学校において，地域ボランティアが参画する様々な支援のまとめ役の育成。学校と地域をつなぐ役割を担う。今後，地域学校協働本部が立ち上がった際には，より広い活動を行う推進員が学校と地域の協働を支えていく。	<p>令和3年度～5年度 令和3年度から推進員及び推進員候補者の研修をすることで，推進員としての資質向上を図る。令和4年度から地域学校協働本部が設置された学校の推進員への委嘱を行う。研修については，継続して実施し，全校配置後は連絡協議会を開催する。</p> <p>令和6年度～7年度 引き続き，地域学校協働活動推進員の連絡協議会を開催し，地域学校協働活動の推進を図る。</p>
地域づくり事業（中央公民館）	地域が抱える様々な課題を，専門的な視点から掘り下げ関心を高め，課題解決に役立てる。	<p>令和3年度～5年度 既に取り組みを行っている地域については，引き続き課題解決に向けた講座等の実施。取り組みが行われていない地域について，地域課題の把握方法を検討</p> <p>令和6年度～7年度 地域課題解決に向けた講座等を行う地域の増加</p>

地域活動支援補助金 (地域支援課)	地域活動や地域課題の解決を図ろうとする団体の支援	令和3年度～5年度 令和3年度次年度以降の補助金制度見直しに向け検討。広報や地域活動への支援を通じて本補助制度を周知し、新たな取り組みの増加を図る。 令和6年度～7年度 見直した結果を踏まえ実施。
地域いきいきセンター (社会福祉協議会)	地域づくり・子育て・障害者・高齢者支援等の充実を図るため、近隣センターを拠点として、身近な福祉の相談窓口を設置する。	令和3年度～7年度 毎年度1ヶ所の設置を目指す。併せて次期設置場所の検討・準備を進める。

コラム③

高柳地区
 地域アーカイブ的な取組
 図書館，公民館，KC
 写真等

コラムには、現時点でのアイデア(仮)を挙げています。

コラム④

教育福祉会館の運営体制 見直しの取組

- ① 地域共生社会の実現に向けた全世代対応型の施設づくり
- ② 教育・福祉の連携による多世代交流や地域づくり（福祉）活動の支援強化
- ③ 利用者目線に立った施設の一体的な運用
- ④ 中間支援事業者による一体的・継続的活動支援の実現と地域への広がり

テーマ	④ 情報提供による学びの支援
-----	----------------

具体的事業	生涯学習情報提供システム（生涯学習課） 子育て支援情報提供事業（子育て支援課） 市民公益活動情報サイト「かしわん、ぼっ？」（協働推進課） レファレンスサービス（図書館） ライフスタイルに合わせた学習コンテンツの提供（生涯学習課）
-------	--

主な事業

具体的事業	事業概要	年次計画
生涯学習情報提供システム（生涯学習課）	柏市内（近隣）の生涯学習に関する情報（講座・イベント、団体等）を探したり、掲載したりできるサイト。官民間問わず情報を提供	令和3年度～5年度 利用者が必要な情報を探しやすいように、情報の一元化を含めHPの見直しを検討。市民ニーズに合わせた情報を増やしていく。 令和6年度～7年度 様々な世代に情報が提供できる仕組みを検討・工夫しながら実施していく。
子育て支援情報提供事業（子育て支援課）	子育てに関する制度やイベント、支援団体情報などを子育てサイトやLINEで発信	令和3年度～5年度 新HPによる情報提供開始。特にLINE公式アカウントの周知に努め、市からの積極的な情報発信を行う。 令和6年度～7年度 次回リニューアル時に向け、課題等を精査し、需要に合った情報提供ができるよう検討する。
ライフスタイルに合わせた学習コンテンツの提供（生涯学習課）	公民館・近隣センター等における受講、自宅でのPC受講など、さまざまなツールを利用できる学習コンテンツの提供と情報提供を行うことにより、ライフスタイルに合わせた学習機会を拡充する。	令和3年度～5年度 先進的な取組を調査。市民アンケート結果と合わせ、新しい学習コンテンツ提供を幅広く試みる。 令和6年度～7年度 効果的な取組の検証やシステム改修の検討をしながら、学習機会の提供を継続する。

コラムには、現時点でのアイデア(仮)を挙げています。

コラム⑤

はぐはぐひろば 子育て総合相談窓口的なもの

はぐはぐひろばは、親子で遊べるのはもちろん、子育てを応援する広場です

子育て支援アドバイザーがそれぞれの悩み・困りごとに寄り添って、適切な子育て支援サービスにつなげます

みずたま相談室 相談室ぽぽら

4 計画の推進・評価体制

計画は、策定し実行するだけでなく、適正な評価を行い、施策の充実や見直しを行っていくことが大切です。

この計画では、外部の有識者を含む附属機関に意見を聞きながら、計画的かつ効果的に推進を図ります。

進捗管理

進捗管理及び評価については、取組方針に基づき施策体系化した具体的事業により目標を設定し、結果の検証を行います。

中間年度における進捗評価

具体的事業による進捗管理と合わせて3年間の取組状況を確認し、必要に応じた事業の見直しや、事業の追加・削除等の変更を行います。

（教育委員会が所管する施策の評価について）

教育委員会が所管する施策の評価については、教育に関する事務の点検・評価報告書において、施策の進捗状況を明らかにし対象年度の取組内容と今後の方向性を示していきます。

參考資料

この頁の計画等は、今後、最新の内容に変更する予定です

1 関連分野の行政計画等（抜粋）

柏市図書館のあり方（H31.2）

基本方針

1. 学び 生涯を通じて学び、生きる力を獲得することを支えます。
2. 共有 資料・知識・経験等の共有と学びあいの場を提供し、ゆるやかなつながりを育みます。
3. 創造 新しい価値を生み出す創造的な活動を支え、ひとづくり・地域づくりを育みます。

小学校 学習指導要領 前文（H29）

教育課程を通して、これからの時代に求められる教育を実現していくためには、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという、社会に開かれた教育課程の実現が重要となる。

第二期柏市子ども・子育て支援事業計画（R2.3）

基本理念 すべての子どもの幸せを ともに 守り育てるまち かしわ

施策展開の方向

- 1 親子が社会へつながる一歩を踏み出せる環境をつくる
- 2 子ども一人ひとりを、多くの目と手で育てる支援体制や地域環境をつくる
- 3 一人ひとりが大切に育てられるよう、支援体制を整える。

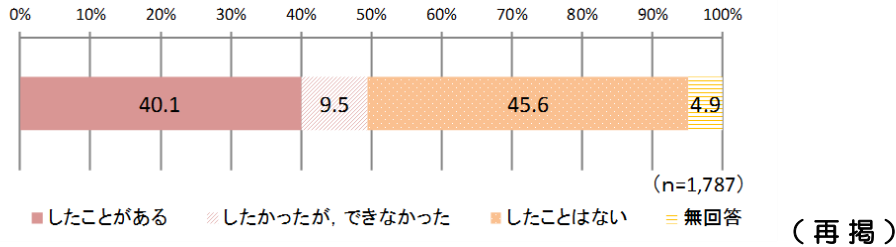
ノーマライゼーションかしわプラン（H29）

基本理念 みんなでつくる みんなで暮らせるまち かしわ

- 基本方針
1. 共生社会の実現に向けた相互理解の促進
 2. 暮らしやすい環境づくりの推進
 3. 健やかに暮らせる地域づくりの推進

2 アンケート結果（詳細分析・抜粋）

この1年間に、生涯学習をしたことはありますか。

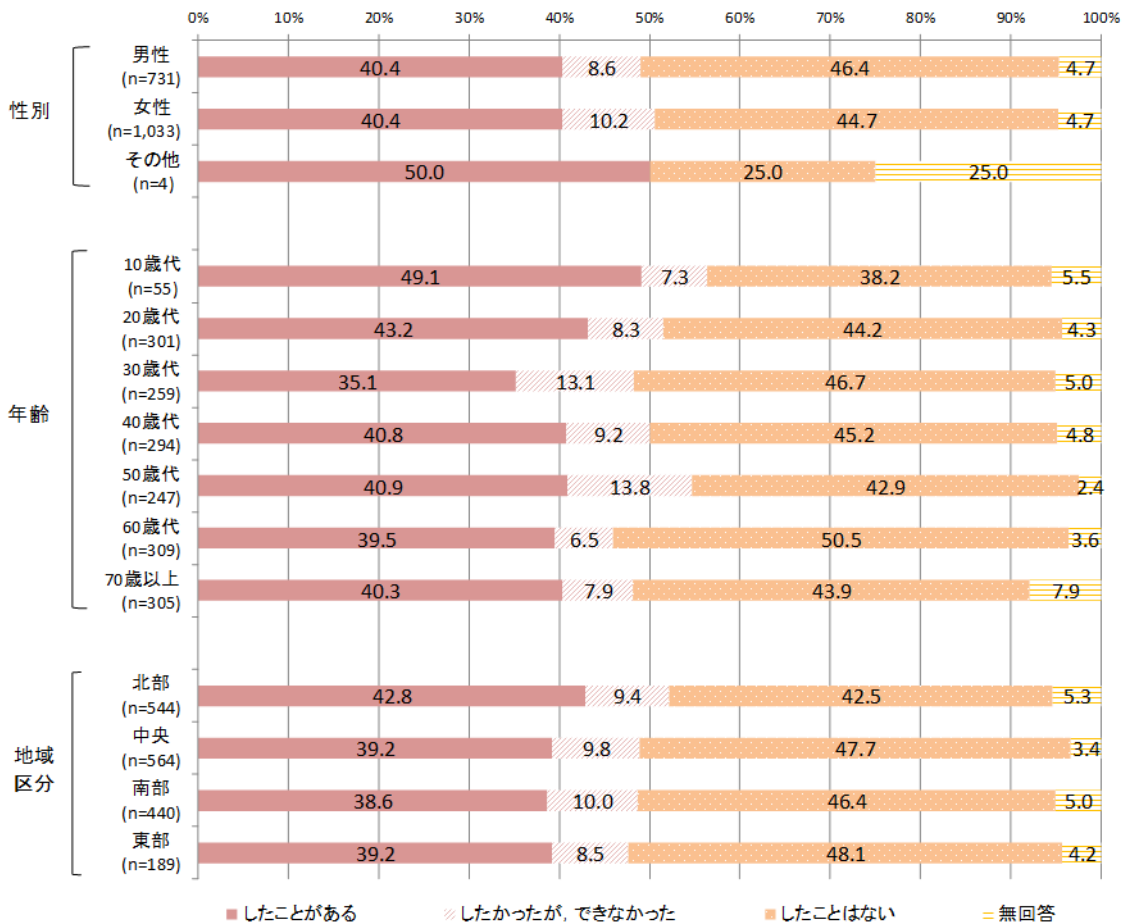


【クロス集計】

性別では、大きな傾向の差がなかった。

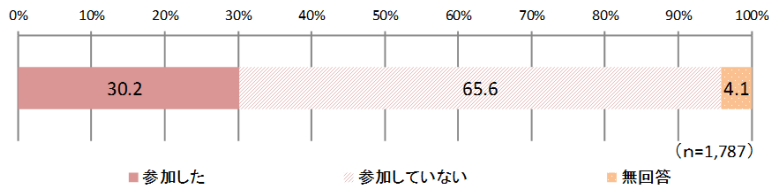
年齢別では、10歳代においては「したことがある」の回答割合が「したことはない」の回答割合を大幅に上回った。60歳代においては「したことはない」の回答割合が「したことがある」の回答割合を大幅に上回った。それ以外の世代では大きな傾向の差はなかった。

地域別では、北部で「したことがある」の回答割合がやや多かった。



メモ：30代と50代で「したかったができなかった」の割合が多い。このタイミングできっかけを掴めると活動人口の増加につながるか？

この1年間に、地域の活動に参加しましたか。



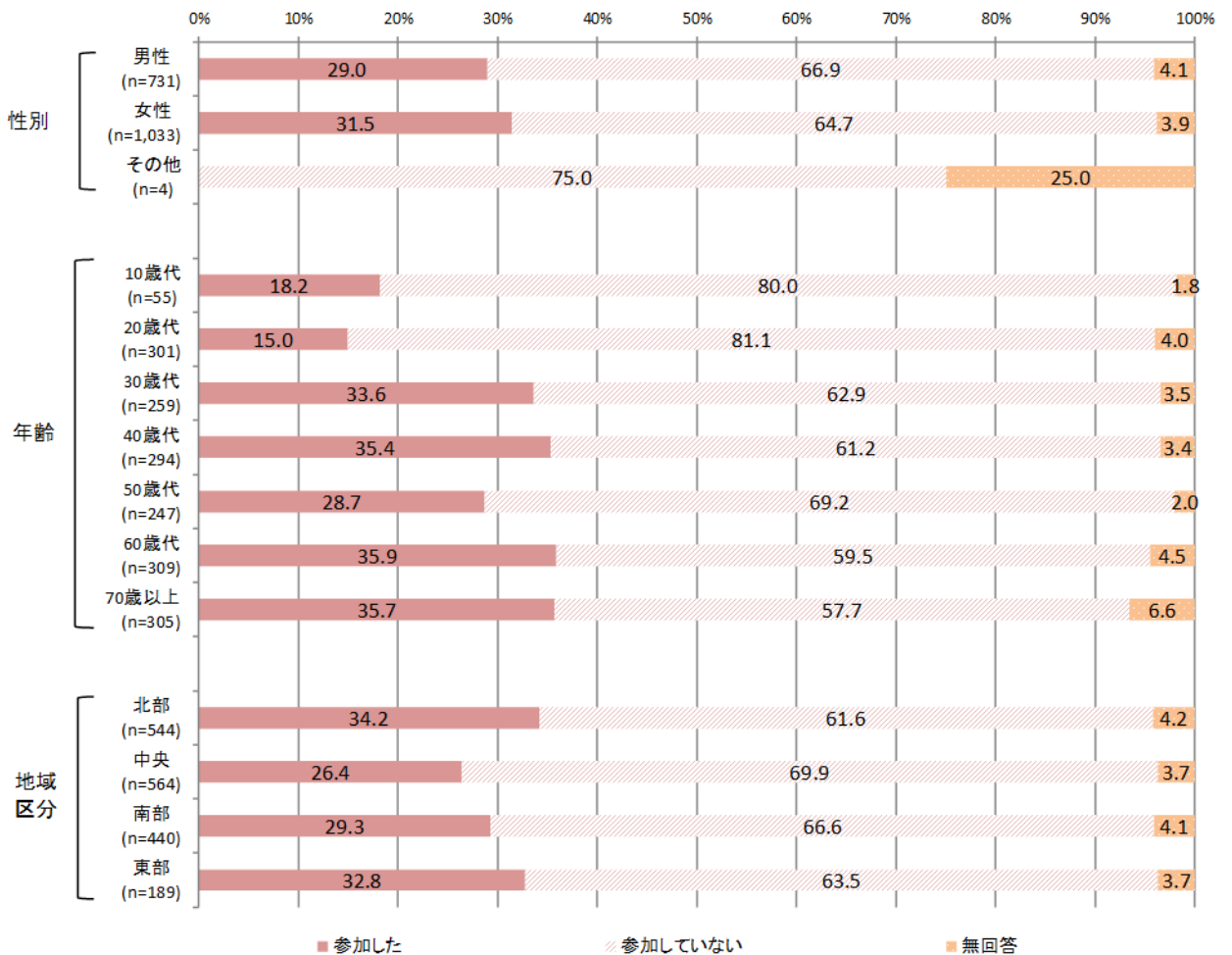
(再掲)

【クロス集計】

性別では、大きな傾向の差はなかった。

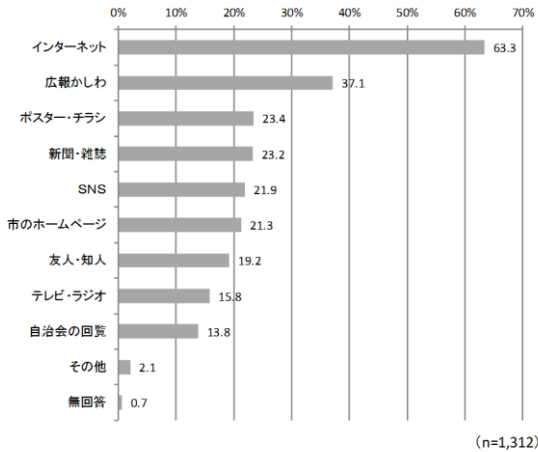
年齢別では、全ての年齢層において「参加していない」の回答割合が「参加した」の割合を上回るものの、10歳代から20歳代においては「参加した」の回答割合が他の年齢層と比べ少なかった。

地域別では、中央で「参加した」の回答割合が少なかった。



メモ：30代以降は割合が固定化してくる。
30代はファミリー層に入るため、定住と地域を考えるタイミングか？

今後、学習する際にどのような方法で情報を収集しようと思いますか。



(再掲)

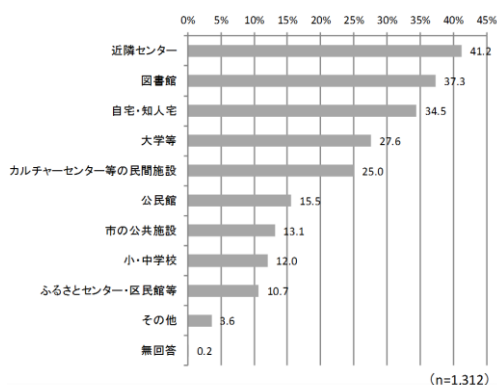
メモ：30代までは、SNSを始めとする電子媒体のみの状況。

【クロス集計】

性別では、「新聞・雑誌」や「テレビ・ラジオ」「インターネット」は男性の方が、「ポスター・チラシ」や「友人・知人」「広報かしわ」「自治会の回覧」は女性の方が割合が多かった。
 年齢別では、10歳代から30歳代においては「SNS」、40歳代から50歳代では「広報かしわ」、60歳代から70歳以上では「広報かしわ」や「ポスター・チラシ」の回答割合が多かった。
 地域別では、大きな傾向の差はなかったが、北部では「SNS」、東部では「新聞・雑誌」の回答割合も多かった。

		総数	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	ポスター・チラシ	友人・知人	SNS	市のホームページ	インターネット	広報かしわ	自治会の回覧	その他	無回答
性別	男性	519	138	102	85	74	103	121	361	166	59	14	4
		100.0%	26.6%	19.7%	16.4%	14.3%	19.8%	23.3%	69.6%	32.0%	11.4%	2.7%	0.8%
	女性	782	164	103	219	177	181	156	464	319	122	14	4
	100.0%	21.0%	13.2%	28.0%	22.6%	23.1%	19.9%	59.3%	40.8%	15.6%	1.8%	0.5%	
	その他	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年齢	10歳代	38	3	9	2	5	27	3	29	1	1	5	1
		100.0%	7.9%	23.7%	5.3%	13.2%	71.1%	7.9%	76.3%	2.6%	2.6%	13.2%	2.6%
	20歳代	218	28	31	35	44	111	26	180	23	8	9	2
		100.0%	12.8%	14.2%	16.1%	20.2%	50.9%	11.9%	82.6%	10.6%	3.7%	4.1%	0.9%
	30歳代	195	24	36	36	40	60	44	156	33	15	2	0
		100.0%	12.3%	18.5%	18.5%	20.5%	30.8%	22.6%	80.0%	16.9%	7.7%	1.0%	0.0%
	40歳代	219	40	26	45	43	51	56	169	76	25	4	0
		100.0%	18.3%	11.9%	20.5%	19.6%	23.3%	25.6%	77.2%	34.7%	11.4%	1.8%	0.0%
	50歳代	202	63	34	54	33	23	57	139	74	24	2	0
	100.0%	31.2%	16.8%	26.7%	16.3%	11.4%	28.2%	68.8%	36.6%	11.9%	1.0%	0.0%	
60歳代	236	64	36	77	39	12	57	99	154	63	1	2	
	100.0%	27.1%	15.3%	32.6%	16.5%	5.1%	24.2%	41.9%	65.3%	26.7%	0.4%	0.8%	
70歳以上	195	81	32	56	47	1	35	54	125	44	5	3	
	100.0%	41.5%	16.4%	28.7%	24.1%	0.5%	17.9%	27.7%	64.1%	22.6%	2.6%	1.5%	
地域区分 (4区分)	北部	400	95	72	80	78	100	86	258	138	52	10	1
		100.0%	23.8%	18.0%	20.0%	19.5%	25.0%	21.5%	64.5%	34.5%	13.0%	2.5%	0.3%
	中央	425	87	56	102	79	97	91	276	162	60	7	2
		100.0%	20.5%	13.2%	24.0%	18.6%	22.8%	21.4%	64.9%	38.1%	14.1%	1.6%	0.5%
	南部	328	77	48	87	59	59	74	207	123	46	8	4
		100.0%	23.5%	14.6%	26.5%	18.0%	18.0%	22.6%	63.1%	37.5%	14.0%	2.4%	1.2%
東部	131	39	25	31	29	29	25	71	54	20	1	2	
	100.0%	29.8%	19.1%	23.7%	22.1%	22.1%	19.1%	54.2%	41.2%	15.3%	0.8%	1.5%	

今後、学習する際にどのような場所や施設を利用したいと思いますか。



メモ：近隣センターが一番多いことが柏市の
特徴か（地区公民館的な役割）？
自宅・知人宅の中にデジタルコンテンツでの
学習などが含まれるか

【クロス集計】

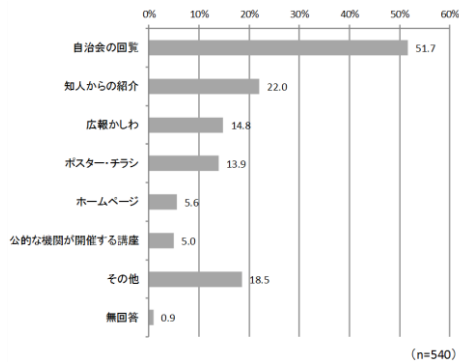
性別では、男性は「図書館」、女性は「近隣センター」が最も多かった。

年齢別では、「図書館」という回答はいずれの世代でも多いが、年代が下がるほど割合が多くなった。20歳代から30歳代は「自宅・知人宅」が最も多くなった。40歳代以上では「近隣センター」が最も多かった。60歳代から70歳以上においては「カルチャーセンター等の民間施設」の回答割合も多かった。

地域別では、大きな傾向の差はなかったが、南部においては「大学等」の回答割合も多かつ

		総数	自宅・知人宅	公民館	図書館	近隣センター	小・中学校	市の公共施設	ふるさとセンター・区民館等	カルチャーセンター等の民間施設	大学等	その他	無回答
性別	男性	519	198	75	206	189	66	50	52	109	170	24	1
		100.0%	38.2%	14.5%	39.7%	36.4%	12.7%	9.6%	10.0%	21.0%	32.8%	4.6%	0.2%
	女性	782	250	126	276	348	92	121	87	215	190	23	1
	100.0%	32.0%	16.1%	35.3%	44.5%	11.8%	15.5%	11.1%	27.5%	24.3%	2.9%	0.1%	
	その他	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
年齢	10歳代	38	15	8	22	3	1	3	1	3	19	0	1
		100.0%	39.5%	21.1%	57.9%	7.9%	2.6%	7.9%	2.6%	7.9%	50.0%	0.0%	2.6%
	20歳代	218	121	26	97	54	11	8	9	34	78	14	0
		100.0%	55.5%	11.9%	44.5%	24.8%	5.0%	3.7%	4.1%	15.6%	35.8%	6.4%	0.0%
	30歳代	195	97	23	83	70	33	18	15	50	48	5	0
		100.0%	49.7%	11.8%	42.6%	35.9%	16.9%	9.2%	7.7%	25.6%	24.6%	2.6%	0.0%
	40歳代	219	81	30	78	94	38	23	13	66	59	13	0
		100.0%	37.0%	13.7%	35.6%	42.9%	17.4%	10.5%	5.9%	30.1%	26.9%	5.9%	0.0%
	50歳代	202	49	34	70	78	26	35	21	64	65	5	0
	100.0%	24.3%	16.8%	34.7%	38.6%	12.9%	17.3%	10.4%	31.7%	32.2%	2.5%	0.0%	
60歳代	236	43	54	76	125	27	45	38	60	54	5	1	
	100.0%	18.2%	22.9%	32.2%	53.0%	11.4%	19.1%	16.1%	25.4%	22.9%	2.1%	0.4%	
70歳以上	195	42	28	58	115	21	39	42	47	38	5	0	
	100.0%	21.5%	14.4%	29.7%	59.0%	10.8%	20.0%	21.5%	24.1%	19.5%	2.6%	0.0%	
地域区分 (4区分)	北部	400	165	46	170	162	38	49	49	91	115	16	1
		100.0%	41.3%	11.5%	42.5%	40.5%	9.5%	12.3%	12.3%	22.8%	28.8%	4.0%	0.3%
	中央	425	142	70	157	162	59	48	34	126	111	16	0
		100.0%	33.4%	16.5%	36.9%	38.1%	13.9%	11.3%	8.0%	29.6%	26.1%	3.8%	0.0%
	南部	328	93	42	108	159	40	49	38	75	106	13	0
	100.0%	28.4%	12.8%	32.9%	48.5%	12.2%	14.9%	11.6%	22.9%	32.3%	4.0%	0.0%	
東部	131	45	42	43	51	17	17	14	26	24	1	0	
	100.0%	34.4%	32.1%	32.8%	38.9%	13.0%	13.0%	10.7%	19.8%	18.3%	0.8%	0.0%	

この1年間に、地域の活動に参加したきっかけは何ですか。



(再掲)

メモ：知人からの紹介の中には SNS によるものも含まれるかも？

【クロス集計】

性別では、大きな傾向の差はなかった。

年齢別では、10歳代から20歳代では「知人からの紹介」の回答割合が最も多く、「ポスター・チラシ」の回答割合も多かった。30歳代から70歳以上においては「自治会の回覧板」の回答割合が最も多く、「知人からの紹介」や「広報かしわ」の回答割合も多かった。

地域別では、大きな傾向は似ているが、「広報かしわ」は北部・東部で、「ホームページ」は中央、「公的な機関が開催する講座」は北部でそれぞれ比較的多くなった。

		総数	広報かしわ	ホームページ	公的な機関が開催する講座	自治会の回覧	ポスター・チラシ	知人からの紹介	その他	無回答
性別	男性	212	32	15	8	103	34	51	37	3
		100.0%	15.1%	7.1%	3.8%	48.6%	16.0%	24.1%	17.5%	1.4%
	女性	325	48	15	19	173	41	68	63	2
	100.0%	14.8%	4.6%	5.8%	53.2%	12.6%	20.9%	19.4%	0.6%	
	その他									
年齢	10歳代	10	0	0	0	2	2	5	3	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	50.0%	30.0%	0.0%
	20歳代	45	3	2	1	9	12	16	9	0
		100.0%	6.7%	4.4%	2.2%	20.0%	26.7%	35.6%	20.0%	0.0%
	30歳代	87	12	11	1	41	13	12	19	1
		100.0%	13.8%	12.6%	1.1%	47.1%	14.9%	13.8%	21.8%	1.1%
	40歳代	104	12	7	0	51	10	20	30	2
		100.0%	11.5%	6.7%	0.0%	49.0%	9.6%	19.2%	28.8%	1.9%
	50歳代	71	7	7	5	35	10	15	16	1
	100.0%	9.9%	9.9%	7.0%	49.3%	14.1%	21.1%	22.5%	1.4%	
60歳代	111	21	2	5	70	13	29	11	1	
	100.0%	18.9%	1.8%	4.5%	63.1%	11.7%	26.1%	9.9%	0.9%	
70歳以上	109	25	1	15	68	15	22	11	0	
	100.0%	22.9%	0.9%	13.8%	62.4%	13.8%	20.2%	10.1%	0.0%	
地域区分 (4区分)	北部	186	32	8	15	91	28	40	34	3
		100.0%	17.2%	4.3%	8.1%	48.9%	15.1%	21.5%	18.3%	1.6%
	中央	149	16	13	5	69	17	36	29	1
		100.0%	10.7%	8.7%	3.4%	46.3%	11.4%	24.2%	19.5%	0.7%
	南部	129	17	7	6	74	19	22	24	0
	100.0%	13.2%	5.4%	4.7%	57.4%	14.7%	17.1%	18.6%	0.0%	
東部	62	11	2	0	35	8	19	12	1	
	100.0%	17.7%	3.2%	0.0%	56.5%	12.9%	30.6%	19.4%	1.6%	

3 策定までの流れ

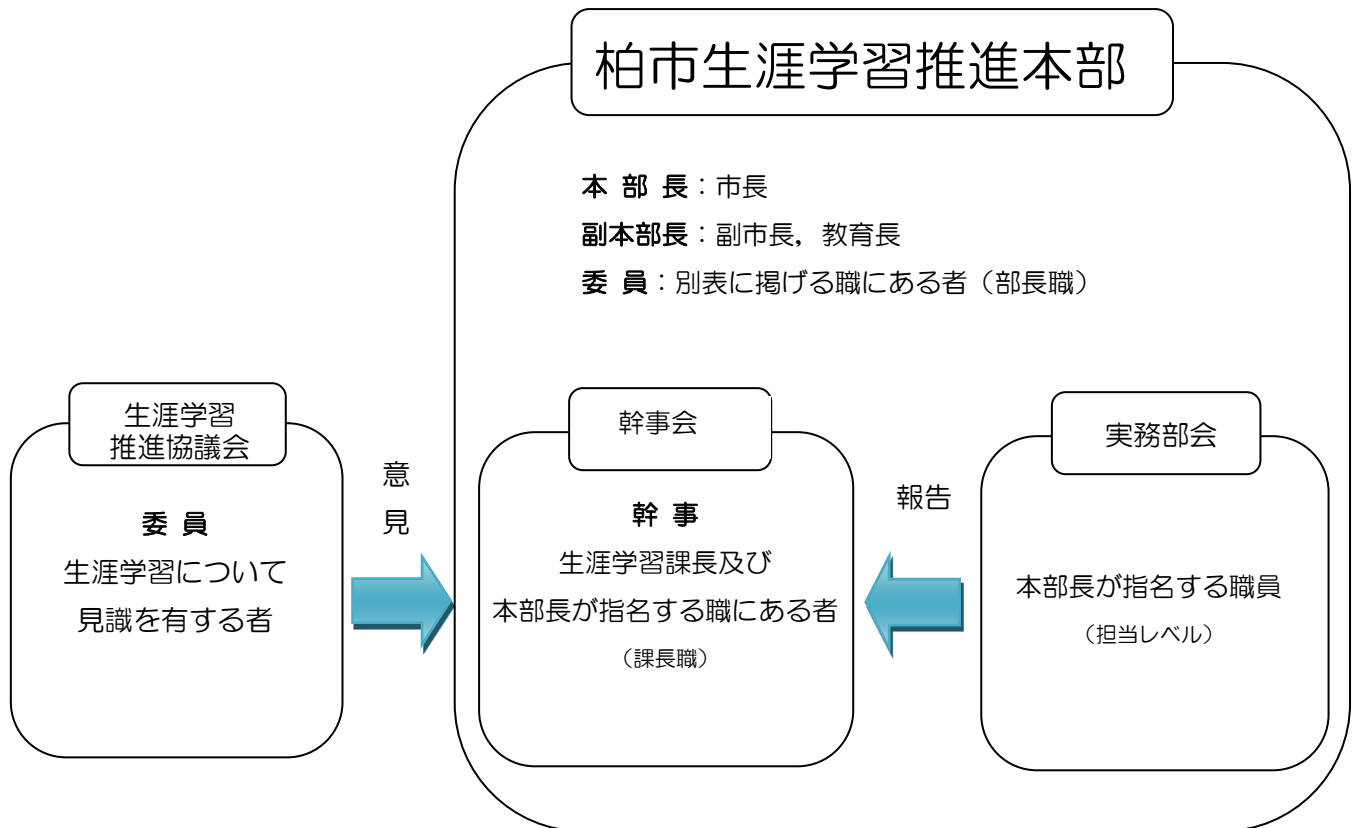
	柏市生涯学習 推進協議会	柏市生涯学習 推進本部実務部会	アンケート	パブリック コメント
令和元年 8月	27日 協議会①			
9月		27日 部会①		
10月	29日 協議会②			
11月			11/1~ 22	
12月		23日 部会②		
令和2年 1月	28日 協議会③			
2月		18日 部会③		
3月				
4月				
5月				
6月		部会（書面）		
7月				
8月	4日 協議会④			
9月				
10月		部会（書面）		
11月	協議会⑤			
12月				12月中旬 ~ 1月中旬
令和3年 1月		部会（書面）		
2月	協議会⑥			
3月				

4 柏市の計画策定・推進体制

第4次柏市生涯学習推進計画を策定するにあたり、生涯学習推進協議会は、学識経験者、コーディネーター、実際に地域で活動している方々を委員とし、実効性の高い計画になるよう、助言をいただきました。

令和元年11月に「教育・生涯学習・芸術文化に関するアンケート」を実施し、計画策定の参考としました。

また、生涯学習推進本部は、実務部会（担当職員レベルの集まり）を中心に、重点施策における施策評価の方法等について、議論いたしました。



柏市生涯学習推進協議会

	氏名 (敬称略)	職 等
会 長	いげざわ まさこ 池 沢 政子	開智国際大学 名誉教授
副会長	しみず まさあみ 清 水 雅文	社会保険労務士 キャリアコンサルタント
	いわさき まさお 岩 崎 雅夫	さわやかちば県民プラザ 所長
	いわぶち ひろみ 岩 淵 弘美	みんなの子育て広場支援コーディネーター
	うえの るみ 上 野 妃呂美	元柏市立保育園父母の会連合会長
	すえ たけ まゆみ 末 武 真由美	千葉県立柏特別支援学校教諭 特別支援教育コーディネーター
	たかはし ふみなり 高 橋 史成	柏市社会福祉協議会 地域福祉課長
	つねの まさとし 常 野 正紀	多世代交流型コミュニティ実行委員会 代表
	ないとう まさとし 内 藤 正寿	さわやかちば県民プラザ 所長
	なみき たかき 並 木 孝樹	柏市立光ヶ丘小学校 校長
	ねもと としはる 根 本 利治	柏市ふるさと協議会連合会 会長
	まきの あつし 牧 野 篤	東京大学大学院教授
	まつどみ ゆみこ 松 富 由美子	柏市PTA連絡協議会 事務局長
	みよし れいこ 三 好 玲子	かしわ子育てまちづくりネットワーク ・ここっと 代表

柏市生涯学習推進本部

本部長	市長
副本部長	副市長
副本部長	教育長
委員	企画部長
委員	財政部長
委員	地域づくり推進部長
委員	保健福祉部長
委員	保健所長
委員	こども部長
委員	生涯学習部長
委員	学校教育部長

生涯学習推進本部 幹事会名簿

幹事	経営戦略課長
幹事	財政課長
幹事	地域支援課長
幹事	協働推進課
幹事	障害福祉課長
幹事	地域保健課長
幹事	子育て支援課長
幹事	生涯学習課長
幹事	中央公民館長
幹事	図書館長
幹事	学校教育課長



第4次柏市生涯学習推進計画

発行 / 柏市教育委員会 生涯学習部 生涯学習課

お問い合わせ先 / ☎04-7191-7393 FAX04-7190-0892